

The TENDAI journal

発行所：天台宗出版室
発行人：出版室長 寺本 亮洞
〒520-0113 大津市坂本 4-6-2
天台宗務庁内 電話：077-579-0022(代)
Eメール：T-Press@tendai.or.jp

平成30(2018)年8月1日水曜日
(毎月1日発行) 1部50円(消費税込・送料別)

天台ジャーナル



広報天台

「天台宗平和祈念法要」を厳修

一隅を照らす運動 第14回「戦歿者慰霊・世界平和の祈り」



木村四国教区宗務所長を導師に営まれた「天台宗平和祈念法要」 広島平和記念公園・原爆供養塔前

核の脅威、悲惨な戦争を忘れぬために

岡山・四国・山陰の三教区合同で、一隅を照らす運動「第14回戦歿者慰霊・世界平和の祈り『天台宗平和祈念法要』」が7月14日、広島平和記念公園内の原爆供養塔前にて営まれた。法要には三教区有志住職並びに岡山教区第6部の檀信徒ら約80名も参列、先の大戦戦歿者に哀悼の意を捧げるとともに、世界の恒久平和を祈った。また、同時に直前に起きた西日本豪雨災害の犠牲者にも鎮魂の祈りを捧げた。

同法要は、開宗1200年慶讃大法会記念事業として行われた三県(広島・鹿児島・沖縄)特別布教の一環として、平成17年に広島で執り

行われ、今年で第14回目を迎えた。先の大戦の犠牲者や原爆犠牲者の慰霊とともに、悲惨な戦争体験を風化させず、平和

平成30年7月豪雨で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

天台宗 一隅を照らす運動総本部

の大切さを後世に伝えるために毎年営まれている。

同日の法要は、午後2時より、木村俊雅四国教区宗務所長を導師に、見上知正山陰教区宗務所長、永宗幸信岡山教区宗務所長、三教区有志住職らの出仕で厳かに執り行われた。

また、水尾寂芳延暦寺一山禪定院住職、森定慈仁一隅を照らす運動総本部長、葉上観行宗議会議員(岡山)、大西栄光宗議会議員(四国)らが来賓として参列した。

法要を終えるにあたり、森定一隅を照らす運動総本部長が、戦争を知らない世代が大半となり、戦争の悲惨さが伝えられにくくなったことを踏まえ、原爆犠牲者への回向と

世界平和を希求する同法要を、今後とも絶やすことなく続けることの意義を強く訴える挨拶を行った。

また、謝辞にたった永宗岡山教区宗務所長は「身元不明や引き取り手のない遺骨を祀る『原爆供養塔』を知っていたら、意味でも、この法要を家族や縁ある方々などに広く知っていただき、多くの人々に参列してもらえよう行動していきたい」と同法要への思いを述べた。

戦後も70数年を経て、戦禍の悲惨さが忘れられていく風潮にある今、三教区では戦争と原爆の犠牲者の回向と世界平和を祈る同法要を、今後も粘り強く続けていく意向である。(4・5面に関連記事)

平和への願い、比叡山から世界へ 比叡山宗教サミット31周年 「世界平和祈りの集い」 ライブ動画配信のご案内

比叡山宗教サミット31周年「世界平和祈りの集い」が8月4日に開催されます。今年も当日の様様をインターネットでライブ配信することになりました。式典に出席出来ない方や檀信徒の皆様と共にご覧頂くなど、是非ともご利用いただき、共に世界平和を祈念いたしたく存じます。

詳細は、天台宗公式ホームページの特設サイトからご覧ください。

配信日時 平成30年8月4日(土)
15:00～16:00

特設サイト
<http://www.tendai.or.jp/summit/>

極微

「権力者の間で信義が守られるのは、力によつてのみである」とはイタリヤ・ルネサンス期の政治思想家マキャベリの言葉である。また、「信義を守ることなど気がしなかつた君主のほうに、偉大な事業を成し遂げていることを教えてくれる」とも▼まあ、「偉大な事業」が正義に基づくものかどうか分らないし、結果良ければ手段も何も問われないということだろう。ともあれ、内外を問わず政治の世界は道徳的規範の範疇外であることが多いたは歴史を見ても明らかだ▼今年6月に行われた「米朝首脳会談」の先行きがどうなっていくのかを考えると、マキャベリの言葉が現実的に迫ってくる。信義より力による対立となるのか▼最近の世界における指導者を見ると、ロシアのプーチン大統領、中国の習近平国家主席、アメリカのトランプ大統領、北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長、フィリピンのドゥテルテ大統領など、権力志向の支配者的人物が目立つ。まさに「力」の政治家のオンパレードだ▼

これからの国際政治の場は、こうした支配者たちのバトルが繰り返されるリングと化するのだろうか。なんだか、「民主主義」などという言葉はどこかに吹き飛ばされてしまった感じがする。ひょっとして、これら支配者の登場は、人々が民主主義というものに倦み疲れた反動なのかもしれない。